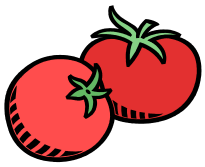
トマト黄化葉巻病 定点調査報告



令和4年9月8日
JA山武郡市
営農部営農振興課

第2報

近年、抑制トマトで問題となっている黄化葉巻病。そして、そのウイルスを媒介するコナジラミ。これらの発生状況を調査しました。毎月2回各地区の定点調査を行い結果報告していきますので、ご活用ください。

コナジラミ類 捕獲頭数 （ホリバ―1枚あたり、15日間基準）

単位：匹

調査日	やさいの里			芝山	山武	第一C
	南郷	豊岡	横芝	二川	睦岡	九十九里
8/20	80	350	10	1	2	25
9/5	400	80	10	54	49	100

黄化葉巻病 発病状況

調査日	やさいの里			芝山	山武	第一C
	南郷	豊岡	横芝	二川	睦岡	九十九里
8/20	被害なし	40a の作付けで3～4%の割合で発生。例年より多い	被害なし	該当圃場では被害少ないが周辺圃場では例年より多い	被害なし	被害なし
9/5	発病株数は2～3株程度	作付面積の5%で発生	発病株数は10株程度	作付面積の5%で発生	作付面積の1%で発生	作付面積の2%で発生

コナジラミが増えると共に黄化葉巻病の発生も増加中！

２週間前と比べてコナジラミ類の発生が増えています。同系統の薬剤を連用してしまうとコナジラミ類に効きづらくなってしまうので、系統の異なる薬剤でローテーション散布を行いましょう。

【ローテーション散布の例】

ベネビア OD ➡ モスピラン顆粒水溶剤 ➡ コルト顆粒水和剤 ➡ アファーム乳剤 ➡ トランスフォームフロアブル ➡ ディアナ SC ➡ ベネビア OD